

平成 26 年度

事業報告書

社会福祉法人 南幌苑
障がい者支援施設 南幌めぐみ学園
共同生活援助・共同生活介護 ハイツ ひまわり

1. 法人の事業運営

平成 25 年 4 月に「障がい者総合支援法」が施行され、障がい関係の各種施策が展開される中、地域生活支援など新しい体制づくりに向け関連情報の収集や発信に努めた。

平成 26 年度における社会福祉法人南幌苑事業活動並びに関係各予算の執行については、事業計画に基づき実行に移され円滑かつ有意義に所期の目的を達成する事が出来た。

法人の経営理念を基本に、各事業所をご利用される方々のニーズに応え、「選ばれる質の高いサービス」の提供を目指し、経営のあり方を見直し、健全経営を維持するとともに法人事業の適正な経営に努めた。

平成 24 年 10 月に「障がい者虐待防止法」が施行されてから 2 年が経ち、当法人でも虐待防止規程やマニュアルの整備、虐待防止委員会の設置等を行った。

ご利用者への支援の充実のため、職員研修として講演会の開催、社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体の開催する多くの外部研修への派遣、法人内施設研修の充実をはかり、職員の意識の向上、スキルアップに努めた。また、ご家族、職員がご利用者の幸せを目指すという共通願いのもと、めぐみ会、めぐみ学園合同の研修会を開催した。

また、ホームページを作成し、情報公開の手段が広がった。

役員研修として、社会福祉法人空知の風、社会福祉法人滝川ほほえみ工房を視察し、地域で当たり前前に生活・就労していくことを目指し、それらをサポートするための事業所としての展開や経営について学んできた。

今後も、法人として地域住民やご利用者、ご家族から親しまれる地域に根付いた法人であることを目指し、確実な事業展開を行い、より一層良い環境づくりに努める。

・重点事業実施状況

1) 役員研修

○法人役員視察研修

平成 26 年 7 月 17～18 日 役員 7 名、職員 6 名

滝川市 滝川ほほえみ工房

岩見沢市 空知の風 たのしいどう・きっちんどう

2) 職員研修

○施設内研修

・平成 26 年 6 月 19 日 救急救命講習

講師 南幌町消防署員 2 名 職員 13 名が受講した。

- ・平成 26 年 8 月 8 日
講演「福祉施設にけるリスクとマネジメント」
講師 北海道保険補償 代表取締役 石山 忠氏
- ・平成 26 年 9 月 27 日 応急措置（のど詰まり）実技講習
- ・平成 26 年 10 月 27, 29, 30 日 感染症予防実技研修会（演習）
- ・平成 26 年 11 月 15 日 めぐみ会・めぐみ学園合同研修会
講演Ⅰ「ひとり一人の豊かな生活を目指して」
講師 北海道知的障がい福祉協会 副会長 上坂隆一氏
講演Ⅱ「中央情勢報告」
講師 日本知的障害者福祉協会 会長 橘 文也氏
- ・平成 26 年 12 月 19 日 虐待防止・権利擁護指導者養成講座
伝達研修会

○施設外研修

北海道社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体が開催する研修会等に参加し、職員の資質向上に努めた。

3) 規程等の改正

- ・給与規程 … 平成 27 年 3 月一部改正
- ・就業規程 … 平成 27 年 3 月一部改正

4) 大規模修繕工事

- ・ボイラー・真空ヒーター熱交換器の取替工事
- ・ふれあい棟実習室改修工事

5) 職員採用及び退職

・採用

平成 26 年 4 月 支援職員（嘱託） 3 名
看護師（正規） 1 名

平成 26 年 9 月 栄養士（正規） 1 名

・退職

平成 26 年 6 月 栄養士（正規） 1 名

平成 27 年 3 月 支援職員（正規） 2 名（内 1 名定年）、
（嘱託） 1 名
事務職員（正規） 1 名、（嘱託） 1 名
看護師（正規） 1 名

・実施事業

○障がい者支援施設南幌めぐみ学園

定員	施設入所支援事業	50名	(現員50名)
	生活介護支援事業	60名	(現員57名)
	就労継続支援B型	10名	(現員8名)

○短期入所事業（併設） 定員 5名

○共同生活援助・共同生活介護事業所 ハイッひまわり

定員 5名

○日中一時支援事業

定員 5名

2. 理事会・評議員会の開催及び監査の実施状況

平成 26 年度においては理事会 6 回、評議員会を 2 回開催し、監事による実施監査を 4 回受けた。

1) 理事会

開催年月日	会 議 内 容
平成 26 年 5 月 27 日	第 159 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 平成 25 年度法人及び施設事業報告について 議案第 2 号 平成 25 年度社会福祉事業会計の決算報告について 議案第 3 号 ボイラー・真空ヒーター熱交換機取替について 議案第 4 号 南幌めぐみ学園職員の退職と採用について 2. 報告事項 1) 平成 26 年度年賀寄附金配分申請の結果報告について 2) 平成 25 年度第 4 回内部監査（決算）の結果報告について 3. その他 1) 次期理事会の開催日程について
9 月 8 日	第 160 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 永年勤続職員の表彰について 議案第 2 号 職員募集について 2. 報告事項 1) 平成 26 年度第 1 回内部監査（6 月末）の結果報告について 3. その他 1) 次期理事会の開催日程について
11 月 27 日	第 161 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 職員採用について 議案第 2 号 ふれあい棟実習室改修工事について 2. 報告事項 1) 平成 26 年度第 2 回内部監査（9 月末）結果報告について

開催年月日	会 議 内 容
平成 26 年 11 月 27 日	3. その他 1) 次期理事会の開催日程について
平成 27 年 1 月 23 日	第 162 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 給与規程の一部改正について 議案第 2 号 就業規則の一部改正について 議案第 3 号 職員採用について 2. 報告事項 1) 平成 26 年度第 3 回内部監査（12 月末）の結果報告について 3. その他 1) 次期理事会の開催日程について
2 月 16 日	第 163 回理事会 1. 報告事項 1) 菓子工房もぐもぐの保健所申請結果について 2) 職員採用及び人事異動について 2. 次期理事会の開催日程について
3 月 20 日	第 164 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 平成 26 年度社会福祉事業会計補正収支予算(案)について 議案第 2 号 平成 27 年度社会福祉法人南幌苑事業計画(案)について 議案第 3 号 平成 27 年度社会福祉事業会計収支予算(案)について 議案第 4 号 南幌めぐみ学園「かよえ～る」屋根塗装工事について 議案第 5 号 南幌めぐみ学園前庭の環境整備について 2. その他 1) 次期理事会の開催について

2) 評議員会

開催年月日	会議内容
平成 26 年 5 月 27 日	<p>第 32 回評議員会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 平成 25 年度法人及び施設事業の経過報告について</p> <p>議案第 2 号 平成 25 年度社会福祉事業会計の決算について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成 26 年度年賀寄附金配分申請の結果報告について</p> <p>2) 平成 25 年度第 4 回内部監査（決算）の結果報告について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 次期評議員会の開催日程について</p>
平成 27 年 3 月 20 日	<p>第 31 回評議員会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 平成 26 年度社会福祉事業会計補正収支予算（案）について</p> <p>議案第 2 号 平成 27 年度事業計画（案）について</p> <p>議案第 3 号 平成 27 年度社会福祉事業会計収支予算（案）について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成 26 年度第 3 回内部監査（12 月末）の結果報告について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 次期評議員会の開催日程について</p>

3) 監事監査

開催年月日	会議内容
平成 26 年 5 月 23 日	平成 25 年度第 4 回内部監査 (決算)
7 月 23 日	平成 26 年度第 1 回内部監査 (6 月末)
11 月 17 日	平成 26 年度第 2 回内部監査 (9 月末)
平成 27 年 1 月 15 日	平成 26 年度第 3 回内部監査 (12 月末)

4) 空知総合振興局による指導監査

- 1) 障がい者支援施設 南幌めぐみ学園
平成 27 年 2 月 23 日提出 書面審査
指摘事項なし

平成26年度 南幌めぐみ学園事業報告

I 概況

1. 運営概況

1) 運営全般

施設サービスの新体系に移行から3年半、就労生活支援センター「かよえ〜る」を日中活動支援の拠点とした日中活動支援・施設入所支援は、ご利用者の活動範囲を広げ職住分離の生活リズムを整えていくことで定着してきた。

行事関連においては、ご利用者やご家族・地域ボランティアの参加ご協力を得て、スポーツ大会・学園祭等の行事を実施した。

他に南幌町のイベントや空知施設協会の各種イベント・大会にも積極的に参加した。

めぐみ会との連携では、例年通り役員会・総会へ総合施設長以下幹部職員・新人職員が出席した。又懇談会・研修会は札幌京王プラザホテルにて開催し（めぐみ会20名・職員13名参加）意見・情報交換をした。

また道外宿泊旅行は、南九州方面へ行きめぐみ会から11名が参加、さらに道内宿泊研修旅行は層雲峡温泉朝陽亭に宿泊、めぐみ会から25名が参加いただき、他の各行事への多数の参加などを通して相互に意見・情報交換することができた。

めぐみ会からは、ご利用者の生活環境整備支援へのご協力が例年通り行なわれた。

2) ご利用者の動向

①ご利用者の概況 ※ 資料「利用者の状況」参照

3) 職員体制

平成26年度は、臨時支援員3名を採用し、日中活動支援及び地域生活支援体制の強化を進める職員配置を行なった。

II ご利用者支援

1. 障がい者支援サービス

1) 施設入所・通所支援

日中活動のあり方についてご利用者一人ひとりの生活ニーズやライフステージに合わせ、個別支援計画に基づいたきめ細かなサービスを提供してきた。

日中活動では「かよえ〜る」を拠点として活動の範囲を広げ、職住分離と毎日の生活リズムを定着させる事ができた。居室の利用では、年齢や障がいの程度・相性などによる住み分けや地域生活移行（グループホーム他）を目指しての生活支援に取り組んだ。ご利用者個々の支援については個別支援計画にそって定期的にモニタリングをおこない、その時々状況に合わせた支援を行った。

2) 日中活動支援

生活介護支援事業は、高齢化・重度化の流れの中で自閉症・自閉傾向の障がいの重い人や情緒障がい（パニック等）・身体障がいとの重複者においては、リハビリ訓練やウォーキングなど体力増進・身体機能維持に向けての取り組みを行なってきた。

生活訓練科は創作活動で和紙工芸や縫製品の制作に取り組み、南幌町内外のイベント、元気ショップいこ〜る（札幌市）にて販売を行った。また広教資材（町内）からの下請け作業などの軽作業を行ないながら、日常生活動作の訓練・支援（歯磨き・ひげそり・整容・洗濯・整理整頓等）の取り組みを個別に行った。

紙器加工科は下請け業者（ポロトナ、北辰フーズ、ベイクト・アルル）から、箱折り各種・菓子詰めなどの委託作業に通年取り組んできた。

農産科では畑作業（じゃがいも・ミニトマト・豆類・かぼちゃ等の栽培）や環境整備・冬期は豆の出荷作業などの軽作業に取り組んできた。収穫した農産物は、セブンイレブンに出荷・販売する。

3) 就労継続支援

就労継続支援B型事業は、以前からの長期実習であるさとう自動車整備工場に1名・スリービーに4名の計5名が継続して、自立生活を目指して実習に取り組んだ。

セブンイレブンのごみ分別の委託作業には、女子3名がローテーションで取り組んだ。それぞれに何らかに課題は残るものの「働くこと」を通して、厳しさを学び社会生活能力を養ってきた。

福祉の店は3名がクッキーなどの焼き菓子づくりとコーヒーの宅配サービスを行なった。手作りクッキーは、セブンイレブンに陳列・販売している。

4) 余暇支援

余暇活動ではご利用者の年齢や身体状況・嗜好やニーズを十分考慮し、南幌町内のイベントや近隣の他施設の行事や催事などに積極的に参加出店した。

またスポーツ大会では保護者ご家族との交流だけでなく、地域の方々・ボランティアの方々との交流を深めた。

園内では、焼肉パーティー・餅つき・忘年会・新年会・節分などの季節の行事を行った。

道外宿泊旅行は南九州方面へご利用者14名、ご家族11名、職員6名が参加し、さらに道内宿泊研修旅行は層雲峡温泉朝陽亭に宿泊、ご利用者51名・ご家族27名・職員20名の98名が参加した。

スポーツ活動では、南幌町福祉スポーツ大会に参加し、ソフトボール・パークゴルフ・卓球等の種目で空知知的協会の大会に参加した。また札幌ドームでのティーボール大会に参加し、7年連続の応援大賞を受賞した。

5) 苦情解決

ご利用者からの苦情は常設の投書箱にて随時受け付けると共に、日常的にも個々のご利用者の訴えをよく聞き、その悩みや抱える問題点に関し職員が共通認識をもてるよう努めた。今年度は投書による苦情受付は無かった。

職員には「人権侵害ゼロへの誓い」署名を実施し、虐待防止や人権擁護について、研

修会を開催したり、各種会議でも話をして周知徹底を図っている。

6) 保健衛生・医療

年2回の健康診断および毎月の身体測定・歯科訪問診療・皮膚科往診・女性は希望により乳がん子宮がん検診を行った。日常の健康管理に関しては主治医の北広島メンタルクリニック穴澤医師による問診のほか看護師が個別面談を行った。毎月の身体・血圧測定のほか医師の指示等で定期的なバイタルの測定や排便確認等が必要な方は個々については記録表を作成した。高齢化や重度化などの要因からか通院数は増加している。

今年度もインフルエンザ予防接種を全員が受けた。

感染症予防対策委員会を開催し、園内の消毒・清掃さらに手洗いの励行など予防対策を強化し、毎日欠かさず実施した。ノロウイルス等の食中毒に備えて嘔吐物の緊急処理用具を園内2か所に設置した。職員を対象に嘔吐時の処理の手順を学ぶ講習会を実施した。毎月の生活懇談会でご利用者に医療の指導を行い、病気や健康への配慮を促した。

7) リスクマネジメント

ご利用者の事故については、無断外出があったがすぐ対応して早期の発見保護している。その後は職員の勤務時間を変更するなど見守りの強化を図っている。転倒・ご利用者同士のトラブルによるケガ・破損事故が見られている。転倒事故の要因としては年齢や歩行機能低下によるものである。ご利用者同士のトラブルについては、情緒障がいの特徴である他者への攻撃性に起因するものでありご家族や医師と相談の上対応している。破損事故については特定のご利用者に限られているが、その多くはストレスが要因となっていると思われ、人間関係・生活環境の整備を行っている。

(平成26年度の空知総合振興局・南幌町への事故報告は 8件)

8) 栄養管理・給食

毎年2回のご利用者嗜好調査(アンケート)のほか、月例の給食会議の中でご利用者・職員から給食に関する意見や要望を聞き、食事満足度の向上のために検食簿などを参考にしながら給食内容の改善に努めた。健康診断・身体計測の結果やご利用者の心身の状況に関する情報を看護師・支援員と共有し、エネルギーコントロール食や粥食などの特別食を適切に提供した。毎月の生活懇談会でご利用者に栄養指導を行い、誕生日膳や選択食、季節ごとの行事食も提供してきた。

9) 環境整備・防災

ご利用者の方々が日々快適で安全な生活を送ることが出来るように、修繕や草刈りなど居住環境及び周辺的生活環境の整備に努めた。

防災に関しては、「防災計画」に基づいて毎月1回の避難訓練とご利用者と共に行う防災点検を実施した。春5月と秋10月に南幌消防署員立ち会いで総合避難訓練を実施し、地震想定・夜間想定にも取り組んだ。

2. 対外業務

1) 福祉実習生及びボランティアの受け入れ

福祉の専門職として知識や経験を社会へ還元することを目的とし、大学や専門学校を中心に保育・福祉分野の実習生を積極的に受け入れ、次代を担う人材の育成に寄与した。

ボランティアに関しては、定期の訪問・学園行事等を通じて、地域のボランティア団体、音楽や文化のボランティアサークル、個人の学生ボランティア等の受け入れを継続

して行ってきた。

○福祉実習生受け入れ	北海道介護福祉学校	5名
	南幌中学校職場体験	3名
	ハイテクノロジー専門学校	2名
	南幌高校インターシップ	1名

○ボランティア受け入れ 延べ人数108名

2) 養護学校実習の受け入れ

学校関係者と連携し、養護学校中学部・高等養護学校の現場実習を受け入れた。

○現場実習生受け入れ 南幌養護学校中学部4名 南幌養護学校高等部2名

3) 広報活動

学園の広報誌「南幌めぐみ学園だより」は8月・1月の年2回発行し、町内の地域住民には新聞折り込みにて配布、町外のご利用者ご家族や関係機関にも郵送している。「学園の近況について」を保護者に発送し、学園の取り組み状況のお知らせを行った。

3. 管理業務関連

1) 職員研修

障害者総合支援法関係の研修会や行政説明に役職員を派遣し、情報収集に努めた。その他、職員の経験年数や職務内容を考慮し、北海道社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体が開催する研修会や支援の実践に関する研修に参加し、援助技術や知識の習得と情報の収集に努めた。

※資料「研修実績」参照

2) 年間行事

概ね例年通りの日程内容で行事を実施した。

※資料「施設事業実施経過」参照

III その他の事業報告

1. 短期入所事業・日中一時支援事業

1) 概況

在宅の知的障がい児・者の地域生活を支えるサービスとして、短期入所事業と日中一時支援事業を継続して行った。

2) 利用状況

短期入所利用は定期的な利用が増え、2～3泊の定期利用者が5名となる。

日中一時支援利用については児童の低年齢化・障がいの重度化などによりマンツーマン対応による支援を行ってきた。職員配置の面では厳しい状況もあったが社会的責任という視点から継続して受け入れてきた。

※資料「短期入所・日中一時支援利用状況表」参照

平成26年度 GHハイツひまわり 事業報告

プライバシーの尊重と自由時間の確保、ひとりひとりの生活リズムに合わせながら、多様なニーズに対応していけるよう支援体制を整えてきていた。

また町内行事にも積極的に参加していた。

○家事への取り組み

週末（土・日）の食事は当番を決め、自分たちでメニューを考え調理している。

メニューのバリエーションも少しずつ増え、夏場には畑で収穫した野菜を使い食事の献立の中に取り入れた。

誕生日などは本人の好みのメニューを献立に取り入れてもらい、時々外食や宅配なども楽しんでいる。

○清掃

共同スペースの当番はみんなで話し合っ決めてスムーズに行うことが出来ていた。

世話人さんには、清掃の再確認と不十分なところを再度おこなってもらっている。

自室の清掃については、週に一度清掃日を設け、出来る部分は自分で清掃。清掃が苦手なご利用者は世話人と一緒に取り組み清潔を心がけた。

○対人関係

お互いを知り、慣れてくることによって他者への不満や指摘事は多くなってくるものであり、職員がいる時といない時で態度が異なる場面は時々見られていた。

親しくなってきたゆえに甘えやわがままもでてきており、互いの性質や性格を理解していけるよう働きかけつつ、みんなの意見を聞いたり話し合いの機会を設けている。

また時々職員同行のもと、買い物・カラオケ・ボーリングなどで気分転換を図り、親睦を深めた。

○地域活動への参加と関わり

隣人の方々と挨拶を交わしたり、町内会の花壇整備などの活動には積極的に参加していた。また、地域の方々と顔を合わせることも楽しみの一つになってきている。

冬の除雪時期は声を掛け合いながら取り組んでいた。

○健康管理

Aさん 春先に体調を崩したがその後は早めの通院で予防できていた。

Bさん 貧血・血圧が安定せず静養する日が長く見られ通院等必要とした。引き続き血圧測定と体重増加に留意していく。

Cさん 倦怠感や体調不良の不調は軽減できたが不規則な生活を送っているため生活リズムを整えていくよう繰り返していく。

Dさん 健康管理がしっかりできており安定した生活を送っていた。また、体重増加が見られ食生活の見直しをしていく。

Eさん 菓子や糖分の多い飲料を取りすぎて体重の増加が著しく見られていた。もう少し自己抑制できるよう繰り返していく。

1. 職員体制

管理者 1名（兼務） サービス管理責任者 1名（兼務）
世話人 2名（専任） 生活支援員 3名（兼務）
※ その他、バックアップ施設職員にて、随時支援を行った。

2. バックアップ施設

障がい者支援施設南幌めぐみ学園

3. 利用者（定員5名）

平成27年3月31日

氏名	市町村	性別	年齢	区分
Aさん	岩見沢市	女	48歳	3
Bさん	江別市	女	61歳	2
Cさん	長沼町	女	40歳	2
Dさん	当麻町	女	46歳	3
Eさん	小樽市	女	45歳	3

4. 行事实施状況

開催年月日	主たる事業の内容
平成26年 4月 9日	前期健康診断 めぐみ学園にて
5月14～17日	道外研修旅行（南九州方面） 4名参加
6月 6日	焼き肉パーティー めぐみ学園にて
28日	北町町内会 花壇草取り 3名参加
29日	避難訓練（地震想定）
7月 6日	めぐみ学園スポーツ大会 4名参加
13日	空知施設対抗ソフトボール大会 1名参加
8月 9日	北町町内会 北町交流会 4名参加
30日	北町町内会 花壇草取り 3名参加
31日	空知知的しょうがい福祉協会パークゴルフ大会 1名参加
9月 4～5日	道内宿泊研修旅行（旭川方面） 5名参加
21日	避難訓練（地震想定）
28日	めぐみ学園 学園祭 5名参加
11月 2日	ティーボール北の甲子園大会（札幌ドーム） 4名参加

開催年月日	主たる事業の内容
11月 4日	後期健康診断 めぐみ学園にて
	空知知的しょうがい福祉協会事業所対抗卓球大会 1名参加
12月 19日	忘年会 めぐみ学園にて
平成27年	
1月 14日	新年会 めぐみ学園にて
3月 29日	避難訓練（地震想定）

資 料

1. 事業実施経過
2. 職員の配置
3. 職員研修実績
4. 利用者の状況
 - (1) 月別在籍者状況
 - (2) 入退所者状況
 - (3) 利用者年齢調
 - (4) 利用期間調
 - (5) 利用者出身市町村調
 - (6) 障害状況
 - (7) 面会状況
 - (8) 外出状況
 - (9) 外泊状況
5. 短期入所・日中一時支援
 - (1) 短期入所利用状況
 - (2) 日中一時支援利用状況
 - (3) 短期入所・日中一時支援利用者市町村調

1. 事業実施経過

開催年月日	主たる事業の内容
平成 26 年	
4 月 1 日	開園記念日
9 日	第 1 回健康診断 利用者・職員
12 日	福祉有償運送講習 札幌市 職員 1 名
21 日	北海道知的障がい福祉協会 理事会 札幌市 職員 1 名
28 日	空知知的しょうがい福祉協会 理事会・総会 岩見沢市 職員 1 名
29 日	めぐみ会総会 21 名
30 日	環境整備 施設外・道路清掃
5 月 2 日	日帰り社会学習 北海道グリーンランド 岩見沢市 利用者 38 名 職員 16 名
8～9 日	北海道知的障がい福祉協会 総会 全道施設長セミナー 札幌市 職員 1 名
10 日	福祉有償運送講習 札幌市 職員 3 名
13 日	北海道ソーシャルワーカー協会 役員会 総会 札幌市 職員 1 名
13 日	安全運転管理者講習 栗山町 職員 1 名
14～17 日	道外宿泊研修旅行 九州方面 利用者 14 名 家族 11 名 職員 6 名
14～15 日	北海道社会福祉協議会 新人職員マナー研修 札幌市 職員 1 名
23 日	自閉症を学ぶ会 札幌市 職員 1 名
26 日	総合避難訓練
6 月 2 日	北海道ハイテクノロジー専門学校 実習 2 名 (～6/30)
5 日	南幌高校インターシップ 1 名 (～6/6)
6 日	花見焼肉パーティ
12～13 日	全国施設長会議 東京都 職員 1 名
12～13 日	防火管理者講習 江別市 職員 1 名

開催年月日	主たる事業の内容
平成 26 年	
6 月 15 日	空知知的障がい福祉協会 職員研修会 I 赤平市 職員 2 名
17～18 日	北海道知的障がい福祉協会 災害対策検討委員会 北海道社会就労センター施設長職員研修会 札幌市 職員 2 名
19 日	救命救急講習会 体育館 消防署員 2 名
27 日	北海道介護福祉学校実習 実習生 5 名 (～7/4)
7 月 2 日	北海道社会福祉法人経営者協会総会及び研修会 札幌市 職員 1 名
2 日	危険物講習会 岩見沢市 職員 1 名
6 日	第 27 回南幌めぐみ学園スポーツ大会 かよえ～るグラウンド
13 日	空知ソフトボール大会 芦別市 利用者 17 名 職員 7 名
14～15 日	北海道知的障がい関係支援員研修 I 札幌市 職員 1 名
23 日	権利擁護セミナー 札幌市 職員 2 名
24～25 日	新任経理研修 札幌市 職員 1 名
28～29 日	全国施設士セミナー 東京都 職員 1 名
8 月 3 日	第 6 区区民の集い めぐみ学園体育館
6 日	全道グループホーム研修 職員 3 名
8 日	施設内研修 リスクマネジメント研修会
24～25 日	空知知的障がい福祉協会 保健医療部会 美唄市 職員 1 名
25 日	北海道社会就労センター研修会 札幌市 職員 2 名
26 日	南幌町福祉スポーツ大会
9 月 1～2 日	共済会 接遇講習会 札幌市 職員 1 名
2 日	北海道ソーシャルワーカー協会研修会 小樽市 職員 2 名
4～5 日	道内宿泊研修旅行 旭川方面 層雲峡 朝陽亭 利用者 50 名 家族 25 名 職員 20 名 計 95 名

開催年月日	主たる事業の内容
平成 26 年	
9 月 9～12 日	南幌養護学校中等部 実習 5 名
13 日	南幌町歌を歌う合唱の会 体育館
16～18 日	全国日中活動支援部会施設長研究会議
	千葉県 職員 1 名
17 日	苦情解決システム研修会
	札幌市 職員 1 名
18～19 日	空知知的障がい福祉協会 新任職員研修会
	美唄市 職員 3 名
21 日	雪の聖母園祭 月形町 利用者 1 名 職員 2 名
27 日	施設内研修 喉つまりのための応急処置実技研修
	体育館 職員 21 名
28 日	第 27 回 南幌めぐみ学園祭
30 日	南幌中学校職場体験実習 3 名 (～10/2)
10 月	1 日 感染症予防研修会
	岩見沢市 職員 1 名
4 日	空知のチカラ出店 砂川市 利用者 3 名 職員 4 名
6～8 日	全国生産活動・就労支援部会職員研修会
	東京都 職員 3 名
12 日	ボランティアフェスタなんぼろ 利用者 2 名 職員 2 名
16 日	第 2 回健康診断 利用者・職員
20～21 日	全道知的障がい関係職員研究大会
	札幌市 利用者 2 名 職員 2 名
24 日	ふらっと研修会
	岩見沢市 職員 1 名
27～30 日	施設内研修 感染症予防実技研修会
	体育館 職員 26 名
11 月	1 日 雪の聖母園 50 周年記念式典
	月形町 職員 2 名
2 日	第 20 回「赤い羽根」ティーボール北の甲子園記念大会
	札幌ドーム 利用者 23 名 家族 13 名 職員 10 名
2 日	空知知的障がい福祉協会 栄養士調理員従事者研修会
	深川市 職員 1 名
6 日	道社協 施設運営専門講座
	札幌市 職員 1 名
7 日	インフルエンザ予防接種
	体育館

開催年月日	主たる事業の内容
平成 26 年	
11 月	8～9 日 全道地域相談支援セミナー 札幌市 職員 1 名
	8 日 南幌養護学校祭 出店 利用者 2 名 職員 2 名
	9 日 空知知的障がい福祉協会 卓球南大会 団体準優勝 岩見沢市 利用者 6 名 職員 6 名
10～11 日	道福祉施設士会ブロックセミナー 札幌市 職員 1 名
11～12 日	道社協 施設相談員専門研修 B 札幌市 職員 1 名
12 日	第 6 回専門的な実務知識講座 札幌市 職員 1 名
15 日	施設・めぐみ会合同研修会 札幌市 講師 2 名 職員 13 名 めぐみ会 20 名
16 日	はあとキラキラマーケット in なんぼろ 出店 利用者 2 名 職員 2 名
18 日	平成 26 年度 集団指導監査 岩見沢市 職員 2 名
20 日	空知知的障がい者福祉協会 防災担当者ミーティング 岩見沢市 職員 2 名
21 日	インフルエンザ予防接種
26～27 日	道社協 看護師専門研修 札幌市 職員 1 名
27 日	空知管内知的障害関係施設・学校・行政等連絡協議会 美唄市 職員 1 名
27 日	食品衛生協会講習会 岩見沢市 職員 1 名
28 日	生活困窮者自立支援フォーラム 札幌市 職員 1 名
12 月	1 日 虐待防止権利擁護研修会 札幌市 職員 1 名
	2～3 日 社会福祉トップセミナー 東京都 職員 1 名
	6 日 もちつき 体育館
	7 日 空知知的障がい福祉協会 第 1 回理事研修及び意見交換会 滝川市 職員 3 名
16～17 日	道社協 法人役員施設長研修会 札幌市 職員 1 名
17 日	空知知的障がい福祉協会 虐待防止・権利擁護指導者養成講座 伝達研修会 美唄市 職員 3 名
19 日	忘年会 体育館

開催年月日	主たる事業の内容
平成 26 年 12 月 19 日	施設内研修 虐待防止・権利擁護指導者養成講座 伝達研修会 勤務職員全職種
平成 27 年	
1 月 1 日	初詣 南幌神社
	14 日 新年会 体育館
	15～16 日 北海道虐待防止責任者要請研修 札幌市 職員 1 名
	27～28 日 北海道知的障がい福祉協会 幹部職員研修 札幌市 職員 1 名
	29～30 日 日本知的障がい福祉協会 障がい者支援施設部会全国大会 広島市 職員 1 名
2 月 3 日	節 分
	26～27 日 全国社会就労センター長研修会 横浜市 職員 1 名
	28 日 相談・さび管コラボ研修会 美唄市 職員 4 名
3 月 3 日	南幌町障がい者福祉計画策定委員会 南幌町障がい者虐待防止ネットワーク会議 職員 1 名
	6 日 南幌養護学校高等部 卒業式 職員 1 名
	10～11 日 北海道社会就労センター協議会総会・研修会 札幌地 職員 1 名
	11～12 日 空知知的障がい者福祉協会 宿泊幹事会 月形町 職員 1 名
	12～13 日 北海道知的障がい福祉協会 全道施設長研修会 札幌市 職員 1 名
	13 日 南幌養護学校 小・中等部卒業式 職員 1 名
	23 日 空知総合振興局 報酬改定説明会 岩見沢市 職員 3 名
毎 月 実施事業	生活懇談会 買物実習 調理実習 身体測定 血圧測定 北広島メンタルクリニック医師問診 歯科ブラッシング指導 職員会議 支援員会議 給食会議 避難訓練 防災点検 お花指導 茶道指導 各種スポーツ指導 日赤奉仕団・ボランティアとの交流

2. 職員の配置

平成 27 年 3 月 31 日

職名	常勤職員	非常勤職員	計
施設長	1		1
事務員	3		3
サービス管理責任者	2		2
支援員	20	1	21
看護師	1		1
栄養士	1		1
医師		1	1
計	28	2	30

3. 職員研修実績

日程	研修名	場所	参加人数
平成 26 年			
4 月 11 日	北海道知的障がい福祉協会 理事会、研修会	札幌市	1 人
12 日	福祉有償運送運転者講習会	札幌市	1 人
5 月 8～9 日	北海道知的障がい福祉協会 全道施設長研修	札幌市	1 人
10 日	福祉有償運送運転者講習会	札幌市	3 人
13 日	安全運転管理者講習	栗山町	1 人
15～16 日	北海道社会福祉協議会 新任職員マナー研修	札幌市	1 人
23 日	自閉症を学ぶ会 知的障がい者高齢期の課題	札幌市	1 人
6 月 12～13 日	日本知的障がい福祉協会 全国施設長会議	東京都	1 人
15 日	空知知的障がい福祉協会 職員研修会 I	芦別市	1 人

日 程	研 修 名	場 所	参加人数
平成 26 年			
6 月 17～18 日	北海道社会就労センター協議会 施設長研修	札幌市	1 人
19 日	施設内研修 救命救急講習会	学園体育館	勤務職員
7 月 2 日	北海道社会福祉経営協議会 北海道社会福祉経営者セミナー	札幌市	1 人
14～15 日	北海道知的障がい福祉協会 支援員研修 I	札幌市	1 人
17～18 日	施設内研修 役員職員視察研修	滝川市他	13 人
23 日	北海道知的障害福祉協会 権利擁護セミナー	札幌市	2 人
24～25 日	北海道社会福祉協議会 新任経理研修会	札幌市	1 人
28～29 日	全国施設士会 全国施設士セミナー	東京都	1 人
8 月 6 日	北海道知的障がい福祉協会 全道グループホーム研修会	札幌市	3 人
8 日	施設内研修 リスクマネジメント研修会	学園体育館	勤務職員
24～25 日	空知知的障がい福祉協会 保健医療部会	札幌市	1 人
25 日	北海道社会就労センター協議会 社会就労センター研修会	札幌市	2 人
9 月 1～2 日	北海道民間社会福祉事業職員共済会 接遇講習会	札幌市	1 人
2 日	北海道ソーシャルワーカー協会 研修会	小樽市	2 人
16～18 日	日本知的障がい福祉協会 全国日中活動支援部会施設長研究会議	千葉県	1 人
17 日	北海道知的障がい福祉協会 苦情解決システム研修会	札幌市	1 人
18～19 日	空知知的障がい福祉協会 新任職員研修会	美唄市	3 人
27 日	施設内研修 喉つまりのための応急処置実技研修	学園体育館	勤務職員
10 月 1 日	岩見沢保健所 感染症予防研修会	岩見沢市	1 人
6～8 日	日本知的障がい者福祉協会 全国生産活動・就労支援部会職員研修会	東京都	3 人
20～21 日	北海道知的障がい福祉協会 全道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	1 人
24 日	ふらっと ふらっと研修会	岩見沢市	1 人

日 程	研 修 名	場 所	参加人数
平成 26 年			
10 月 29 日	施設内研修 感染症予防実技研修会	学園体育館	勤務職員
30 日	施設内研修 感染症予防実技研修会	学園体育館	勤務職員
11 月 2 日	空知知的障がい福祉協会 栄養士調理員研修会	深川市	1 人
6 日	北海道社会福祉経営者協議会 施設運営専門講座	札幌市	1 人
8～9 日	北海道知的障がい福祉協会 全道地域相談支援セミナー	札幌市	1 人
10～11 日	北海道福祉施設士 ブロックセミナー	札幌市	1 人
11～12 日	北海道社会福祉協議会 施設相談員専門研修 B	札幌市	1 人
12 日	労働調査会 第 6 回専門的な実務知識講座	札幌市	1 人
15 日	施設内研修 めぐみ会合同研修会	札幌市	12 人
20 日	空知知的障がい福祉協会 防災担当者ミーティング	岩見沢市	2 人
28 日	生活困窮者自立支援フォーラム	札幌市	1 人
12 月 1 日	北海道保健福祉部 虐待防止権利擁護研修会	札幌市	1 人
2～3 日	全国社会福祉協議会 社会福祉トップセミナー	東京都	1 人
7 日	空知知的障がい福祉協会 職員研修会	岩見沢市	3 人
9 日	空知知的障がい福祉協会 理事研修会	滝川市	1 人
16～17 日	北海道社会福祉協議会 法人役員施設長研修会	札幌市	1 人
17 日	空知知的障がい福祉協会 障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修 伝達研修	美唄市	1 人
19 日	施設内研修 障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修 伝達研修	学園体育館	勤務職員
平成 2 7 年			
1 月 15～16 日	北海道障がい保健福祉課 虐待防止責任者養成研修	札幌市	1 人
19 日	施設内研修 障がい者虐待防止法の基礎研修	学園役員室	勤務職員

日 程	研 修 名	場 所	参加人数
平成 27 年			
1 月 23 日	施設内研修 障がい者虐待事案から学ぶ検証と防止に向けた取り組み	学園役員室	勤務職員
24 日	施設内研修 演習事例を説明支援集ワークシートの記入	学園支援室	勤務職員
27～28 日	北海道知的障がい福祉協会 患部職員研修会	札幌市	1 人
29～30 日	日本知的障がい福祉協会 障がい者支援部会研修会	広島市	1 人
2 月 9 日	施設内研修 虐待事案がおきた場合の対応	学園役員室	勤務職員
10 日	施設内研修 虐待防止の徹底について	学園役員室	勤務職員
12 日	施設内研修 虐待防止に徹底について	学園役員室	勤務職員
19 日	施設内研修 虐待防止責任者受付等の流れについて	学園役員室	勤務職員
26～27 日	全国社会就労センター協議会 センター長研修	横浜市	1 人
28 日	施設内研修 虐待防止責任者受付等の流れについて	学園役員室	勤務職員
28 日	地域生活支援センターあ～ち 相談・サビ管コラボ研修会	美唄市	4 人
3 月 2 日	施設内研修 虐待防止の徹底について	学園役員室	勤務職員
9 日	施設内研修 虐待防止の徹底について	学園役員室	勤務職員
10～11 日	北海道社会就労センター協議会 職員研修会	札幌市	1 人
11～12 日	空知知的障がい福祉協会 宿泊幹事会	月形町	1 人
12～13 日	北海道知的障がい福祉協会 全道施設長研修会	札幌市	1 人
23 日	空知総合振興局 報酬改定説明会	岩見沢市	3 人

4. 利用者の状況

(1) 月別在籍者状況

区分	月別	26年												27年			合計 (人)
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
初日 在籍者	入所	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600	
	通所	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180	
入所者	入所	1						1						1	3		
	通所	2		1											3		
退所者	入所	1					1				1			3			
	通所	1					1							2			

(2) 入退所者状況

新規入所者数	退 所 者 数							合計 (人)
	社 会 復 帰	帰 宅	長 期 入 院	施 設 替 え	死 亡	その他		
入 所 3		2			1		3	
通 所 1				2			2	

(3) 利用者年齢調

平成27年3月31日現在

年齢区分	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
15歳～19歳				1	1	2
20歳～24歳				1		1
25歳～29歳		3	3	2	2	4
30歳～34歳	2		2			
35歳～39歳	5		5			
40歳～44歳	10	5	15		1	1
45歳～49歳	6	7	13	1	4	5
50歳～54歳		3	3	1		1
55歳～59歳		2	2		1	1
60歳以上	4	3	7			
計	27	23	50	6	9	15

入 所 通 所

最小年齢 入所 通所

男 31歳8ヶ月・19歳9ヶ月

女 27歳6ヶ月・19歳11ヶ月

最高年齢

男 79歳4ヶ月・54歳6ヶ月

女 67歳7ヶ月・61歳7ヶ月

平均年齢

男 45歳3ヶ月・32歳2ヶ月

女 46歳7ヶ月・40歳1ヶ月

男女平均年齢

46歳1ヶ月・37歳0ヶ月

(4) 利用期間調

平成27年3月31日現在

期間区分	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
1年未満	2	1	3	1	1	2
1年～2年未満				1		1
2年～3年未満						
3年～4年未満	1		1	2	6	8
4年～5年未満						
5年～10年未満	1	4	5	1		1
10年以上	23	18	41	1	2	3
合 計	27	23	50	6	9	15
平均利用期間	20年6ヶ月	22年1ヶ月	21年3ヶ月	5年 0ヶ月	4年11ヶ月	9年11ヶ月
最高利用期間	27年0ヶ月	27年0ヶ月		10年11ヶ月	10年11ヶ月	

(5) 利用者出身市町村調

平成 27 年 3 月 31 日現在

市 町 村	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
札幌市 東区	1	1	2			
札幌市中央区		1	1			
札幌市厚別区	1		1			
札幌市 北区	1		1			
札幌市白石区		1	1			
札幌市清田区		1	1			
札幌市豊平区						
北 広 島 市	4	4	8			
江 別 市	4	4	8	1	1	2
小 樽 市		2	2		1	1
夕 張 市		1	1			
網 走 市		1	1			
北 見 市	1	1	2			
岩 見 沢 市	1	1	2	1	3	2
南 幌 町	8		8	3	2	5
栗 山 町		2	2	1		1
長 沼 町	1		1		1	1
新 篠 津 村	1		1			
妹 背 牛 町	1		1			
愛 別 町	1		1			
岩 内 町	1		1			
余 市 町		1	1			
苫 前 町	1		1			
釧 路 町		1	1			
平 取 町		1	1			
当 麻 町					1	1
計	27	23	50	6	9	15

(6) 障害状況調

平成 27 年 3 月 31 日現在

☆ 疾患状況

障害疾患名	入所			通所		
	男	女	計	男	女	計
聴力障害	1		1			
視力障害	1		1			
四肢・体幹機能障害	2	3	5	1	2	3
言語障害	4	3	7			
てんかん	7	6	13	3	4	7
精神科疾患・統合失調症	7	9	16		1	1
高血圧	2	2	4	1	1	2
低血圧	1		1			
糖尿病	2		2	1		1
骨疾患	1	3	4			
腎臓疾患	2	1	3	1		1
肝臓疾患	2	1	3			
心臓疾患	2		2			
甲状腺疾患		2	2			
皮膚疾患	12	11	33		2	2
パーキンソン症候群						
自閉症（傾向）	11	5	16	4	2	6

☆ 知能指数

知能指数(程度)	入所			通所		
	男	女	計	男	女	計
測定不能(全介助を必要)	1	1	2	1	1	2
I Q 3 5 以下(常時介助を必要)	20	12	32	3	1	4
I Q 3 6 ~ 4 9 (介助指導を必要)	3	9	12		3	3
I Q 5 0 以上(一部介助指導必要)	3	1	4	2	4	6
計	27	23	50	7	8	15

(7) 面 会 状 況

南幌めぐみ学園

回 数	男	女	合 計
5 回 以 上	0 人	1 人	2 人
4 回	0 人	0 人	0 人
3 回	0 人	1 人	1 人
2 回	1 人	2 人	3 人
1 回	4 人	2 人	6 人
面 会 な し	24 人	18 人	42 人
計	29 人	24 人	53 人

ハイツひまわり

回 数	男	女	合 計
5 回 以 上	0 人	1 人	1 人
4 回	0 人	0 人	0 人
3 回	0 人	0 人	0 人
2 回	0 人	0 人	0 人
1 回	0 人	2 人	2 人
面 会 な し	0 人	2 人	2 人
計	0 人	5 人	5 人

(8) 外出状況

南幌めぐみ学園

回数	男	女	合計
30回以上	1人	1人	2人
20～29回	0人	0人	0人
10～19回	1人	2人	3人
5～9回	3人	6人	9人
1～4回	24人	15人	39人
なし	0人	0人	0人
計	29人	24人	53人

ハイツひまわり

回数	男	女	合計
30回以上	0人	0人	0人
20～29回	0人	1人	1人
10～19回	0人	3人	3人
5～9回	0人	1人	1人
1～4回	0人	0人	0人
なし	0人	0人	0人
計	0人	5人	5人

(9) 外泊状況調

☆ 外泊回数

南幌めぐみ学園

回 数	男	女	合 計
30 回 以 上	3 人	0 人	3 人
20 ~ 29 回	5 人	0 人	5 人
10 ~ 19 回	5 人	4 人	9 人
5 ~ 9 回	5 人	6 人	11 人
1 ~ 4 回	6 人	7 人	13 人
な し	5 人	7 人	12 人
計	29 人	24 人	53 人

※ 最高外泊回数 46回

ハイツひまわり

回 数	男	女	合 計
30 回 以 上	0 人	0 人	0 人
20 ~ 29 回	0 人	0 人	0 人
10 ~ 19 回	0 人	1 人	1 人
5 ~ 9 回	0 人	0 人	0 人
1 ~ 4 回	0 人	3 人	3 人
な し	0 人	1 人	1 人
計	0 人	5 人	5 人

※ 最高外泊回数 10回

☆ 外 泊 期 間

南幌めぐみ学園

日 数	男	女	合 計
4 1 日 以 上	10人	6人	16人
3 1 日 ~ 4 0 日	4人	0人	4人
2 1 日 ~ 3 0 日	3人	6人	9人
1 1 日 ~ 2 0 日	5人	2人	7人
1 日 ~ 1 0 日	2人	3人	5人
な し	5人	7人	12人
計	29人	23人	53人

※ 合計宿泊数 1,573日 中日日数 625日

ハイツひまわり

日 数	男	女	合 計
4 1 日 以 上	0人	0人	0人
3 1 日 ~ 4 0 日	0人	0人	0人
2 1 日 ~ 3 0 日	0人	1人	1人
1 1 日 ~ 2 0 日	0人	1人	1人
1 日 ~ 1 0 日	0人	2人	2人
な し	0人	1人	1人
計	0人	5人	5人

☆ 入院による外泊

南幌めぐみ学園

	A (男)	B (女)	C (女)	D (女)	計
入院回数	1回	1回	1回	1回	4回
入院日数	53日	60日	10日	36日	159日
主 病	精神科 服薬調整	精神科 服薬調整	腎盂腎炎	急性腎盂腎炎、 他	

ハイツひまわり
入院者 なし

5. 短期入所・日中一時支援

(1) 短期入所利用状況

	26年										27年			合 計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
実人員	5 (4)	7 (6)	7 (6)	8 (5)	9 (4)	8 (4)	7 (5)	9 (9)	8 (6)	7 (3)	7 (5)	10 (6)	13 (13)	
延日数	20 (34)	42 (41)	34 (35)	31 (42)	30 (41)	26 (33)	39 (27)	36 (22)	28 (26)	15 (25)	21 (23)	29 (24)	351 (373)	

※ 下段 () は昨年度実績

(2) 日中一時支援利用状況

	25年										26年			合 計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
実人員	8 (8)	6 (9)	7 (8)	8 (10)	8 (7)	8 (8)	9 (7)	9 (7)	8 (5)	4 (4)	7 (4)	6 (7)	10 (12)	
延日数	53 (48)	50 (45)	54 (48)	47 (45)	48 (52)	53 (44)	62 (45)	65 (34)	41 (29)	34 (37)	45 (26)	52 (40)	604 (493)	

※ 下段 () は昨年度実績

(3) 短期入所・日中一時支援利用者市町村調

区 分	市 町 村								合 計
	岩見沢	江別市	南幌町	栗山町	札幌清田区	札幌豊平区	千歳市		
短期入所	4 (4)	5 (5)	2 (2)	1 (1)	1 (0)	1 (0)		14 (12)	
日中一時支援	2 (2)	6 (6)	1 (1)	0 (0)			1 (0)	10 (9)	
実 人 員	6 (6)	11 (11)	3 (3)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	24 (21)	

※ 下段 () は昨年度実績